

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（歴史的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

（1）日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」のコーナーなどを基に追究し、最後に「確認」「表現」のコーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、教科書の「編（章）の問い」や「節の問い」に対する予想や学習後の考えを記録するワークシートを設け、学びの成果や自己の成長を振り返り、学習内容を深める工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習をふり返ることができる。さらに、編末の「まとめとふり返り」では、習得した知識の確認のあと、各編・節の問いに答えることで、時代の特色を考えさせる工夫が見られる。

（2）日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、現代と歴史とを関連づけて考える「先人に学ぶ」や、歴史の学習をはば広く豊かにするための「歴史＋a」を設けることで、歴史を身近に感じることができるようにする工夫が見られる。
- 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「地域に学ぶ」の特設ページを設け、身近な地域から歴史を学ぶことができる事例を紹介する工夫が見られる。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。